

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Weins Town Ebina (仮称)U-base棟	階数	地上2F
建設地	海老名市中新田字二番河原3289の5ほか	構造	S造
用途地域	準工業地域、無指定	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,400時間/年(想定値)
建物用途	物販店, 飲食店,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年8月19日
敷地面積	3,551 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社電通ライフ一級建築士事務所
建築面積	1,878 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月22日
延床面積	2,275 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社電通ライフ一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	2.6
温熱環境	3.1
光・視環境	3.0
空気質環境	3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.9
耐用性	2.8
対応性	3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.1

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.1
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	厚木駅より徒歩10分の準工業地域にキャンプ場併設の体験型ショールームの一棟として自動車販売、修理を目的とした複合用途のS造・2Fの建物を計画した。	その他 0
Q1 室内環境	・告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 ・内外装仕上げにおいて、防汚性の高い建材を採用し維持管理に配慮。 0
LR1 エネルギー	0	Q3 室外環境 (敷地内) 0
LR2 資源・マテリアル	・躯体+軽鉄+仕上材のデールを採用し、建物解体時におけるリサイクルを促進する計画とした。	LR3 敷地外環境 0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される